

## II 開催概要

---

- 1 東アジア文化都市とは
  - 2 東アジア文化都市2019豊島 事業概要
  - 3 交流都市〈中国〉
  - 4 交流都市〈韓国〉
-

## II-1 東アジア文化都市とは

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を毎年1都市選定し、文化交流、文化芸術イベント等を実施する国家的プロジェクトです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を活かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

2014年から始まり、横浜市（2014年）、新潟市（2015年）、奈良市（2016年）、京都市（2017年）、金沢市（2018年）に続き、豊島区は国内6番目、2019年の日本代表都市として、中国・西安市、韓国・仁川広域市とともに東アジア文化都市を開催しました。東アジア文化都市2019豊島では、これまで豊島区で育まれてきた多様な文化事業と、「舞台芸術」「マンガ・アニメ」「祭事・芸能」の3部門における新規事業のほか、多くの区民参加事業が一体となり、1年間にわたり祝祭性溢れる事業を展開しました。

	2014	2015	2016	2017
日本	 東アジア文化都市 2014横浜 Culture City of East Asia 2014, YOKOHAMA	 東アジア文化都市 2015新潟市 Culture City of East Asia 2015, NIIGATA	 東アジア文化都市 三六奈良 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2016 NARA JAPAN NARA CHINA NINGBO KOREA JEJU	 東アジア文化都市 2017 京都 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2017 KYOTO
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市
韓国	光州広域市	清州市	済州特別自治道	大邱広域市

	2018	2019	2020
日本	 KANAZAWOW! 東アジア文化都市 2018金沢 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2018 KANAZAWA	 東アジア文化都市 2019豊島	 東アジア文化都市 2020北九州 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2020 KITAKYUSHU
中国	ハルビン市	西安市	揚州市
韓国	釜山広域市	仁川広域市	順天市

挨拶  
開催概要  
事業報告  
フシ事業  
開幕式典  
スポンサー事業  
パートナーシップ事業  
フシイベント事業  
関連事業  
開幕式典  
共同宣言  
資料

## 第10回日中韓文化大臣会合

〔日程〕2018年8月30日(木)

〔会場〕松北シャングリラホテル(中国・ハルビン市)

2018年8月30日、中国・ハルビン市で第10回日中韓文化大臣会合が開催され、3か国の文化大臣の合意により、中国・西安市、韓国・仁川広域市とともに、豊島区が2019年の東アジア文化都市に正式決定しました。



左から

(韓国) 都鍾煥 文化体育観光部長官、朴俊夏 仁川広域市副市長

(中国) 雒樹剛 文化・観光部長、李元 西安市副市長

(日本) 林芳正 文部科学大臣、高野之夫 豊島区長



(選定記念品授与) 林芳正 文部科学大臣(左)、高野之夫 豊島区長(右)

## 東アジア文化都市2018金沢閉幕式典

〔日程〕2018年12月5日(水)

〔会場〕金沢市文化ホール

東アジア文化都市2018金沢閉幕式典にて、豊島区への引継式が行われました。

次期開催都市挨拶では高野之夫豊島区長が、区民の全員参加の体制で、東アジア文化都市に取り組み、成功に導いていく意気込みを述べました。また、東アジア文化都市2019豊島プロモーション映像、池袋PRアニメを披露しました。



(引継式) 山野之義 金沢市長(左)、高野之夫 豊島区長(右)

## II-2 東アジア文化都市2019豊島 事業概要

期 間	2019年1月～12月
実施事業	397事業
来場者数	延べ353万人
主 催	東アジア文化都市2019豊島実行委員会、豊島区、文化庁
会 場	東京芸術劇場、Hareza 池袋 など豊島区内各所

### 東アジア文化都市2019豊島 ロゴ

東アジア文化都市では毎年、日本・中国・韓国のそれぞれの開催都市が、シンボルとなるロゴを作成しています。東アジア文化都市2019豊島では、全員参加による一体感の醸成を図るため、3つの候補からひとつを選ぶアンケートを実施し、ロゴを決定しました。



#### 東アジア文化都市2019豊島ロゴアンケート

(実施期間) 2018年6月1日(金)～7月10日(火)

(アンケート投票総数) 23,063票

#### デザインコンセプト

TOSHIMAの「T」をモチーフに3つの国の結束と躍動を表現しました。色とりどりの線の色は、多彩な文化、芸術、国籍などを表し、日本伝統の工芸品でもある組紐のような結び目は、絆や結束を表しています。同時に、結び目を中心にして伸びていく三本線は、エネルギー溢れる活き活きとした生命力を表現しています。

デザイナー：青木康子

### コンセプト

はらはら、どきどき、文化がいっぱい。

「文化がいっぱい」には多文化という意味もあり、「はらはら」と「どきどき」の2つを合わせることで、よりわくわくする感じが出ます。東アジア文化都市2019豊島がすべての人々に楽しく、わくわくするものになるようお願い、コンセプトを考えました。

### 1. 豊島区民の全員参加

豊島区民全員が鑑賞者・つくり手として東アジア文化都市2019豊島に参加いただけることを目指します。特に対象として「文化事業の鑑賞や参加経験が少ない人々」、「豊島区の将来を担う若い世代の人々」、「豊島区に多数居住している中韓出身・中韓国籍の人々」を強く意識し、事業を展開します。

### 2. 豊島区の文化の再認識を通じたシビックプライドの醸成

豊島区は、池袋、巣鴨、駒込、雑司が谷、目白など、様々な特徴を持ったエリアによって構成されています。東アジア文化都市2019豊島では、このようなエリアに存在する豊島区の文化を再認識できるような文化事業を展開します。文化の再認識を通して区在住者・関係者の誇り（シビックプライド）が醸成されることを期待しています。

### 3. 国内外の人々の来訪による豊島区のブランディング

東アジア文化都市2019豊島には豊島区民だけではなく、国内外の多くの人々を迎え入れることを想定しています。これを通じて、「国際アート・カルチャー都市としま」としてのブランド価値を高めることを目指します。

### 4. 各種施策横断によるオールとしまとしての事業展開

東アジア文化都市2019豊島は単なる文化事業にとどまりません。観光・まちづくり・産業・子育て・教育・健康・福祉など様々な分野の政策の視点を盛り込みオールとしまとして事業を展開します。東アジア文化都市2019豊島開催後にも文化の視点をそれぞれの政策に盛り込んでいけるような変革を目指します。

### 5. 豊島区の未来を担う人材の育成

東アジア文化都市2019豊島は豊島区として大きなチャレンジとなる事業です。この準備・実現のプロセスに豊島区内外の文化にとどまらない様々な才能を持った人々を巻き込むことで、豊島区の未来を担う人材の育成を図ります。

### 6. 東アジア文化都市事業の継続性のあるモデルの提示

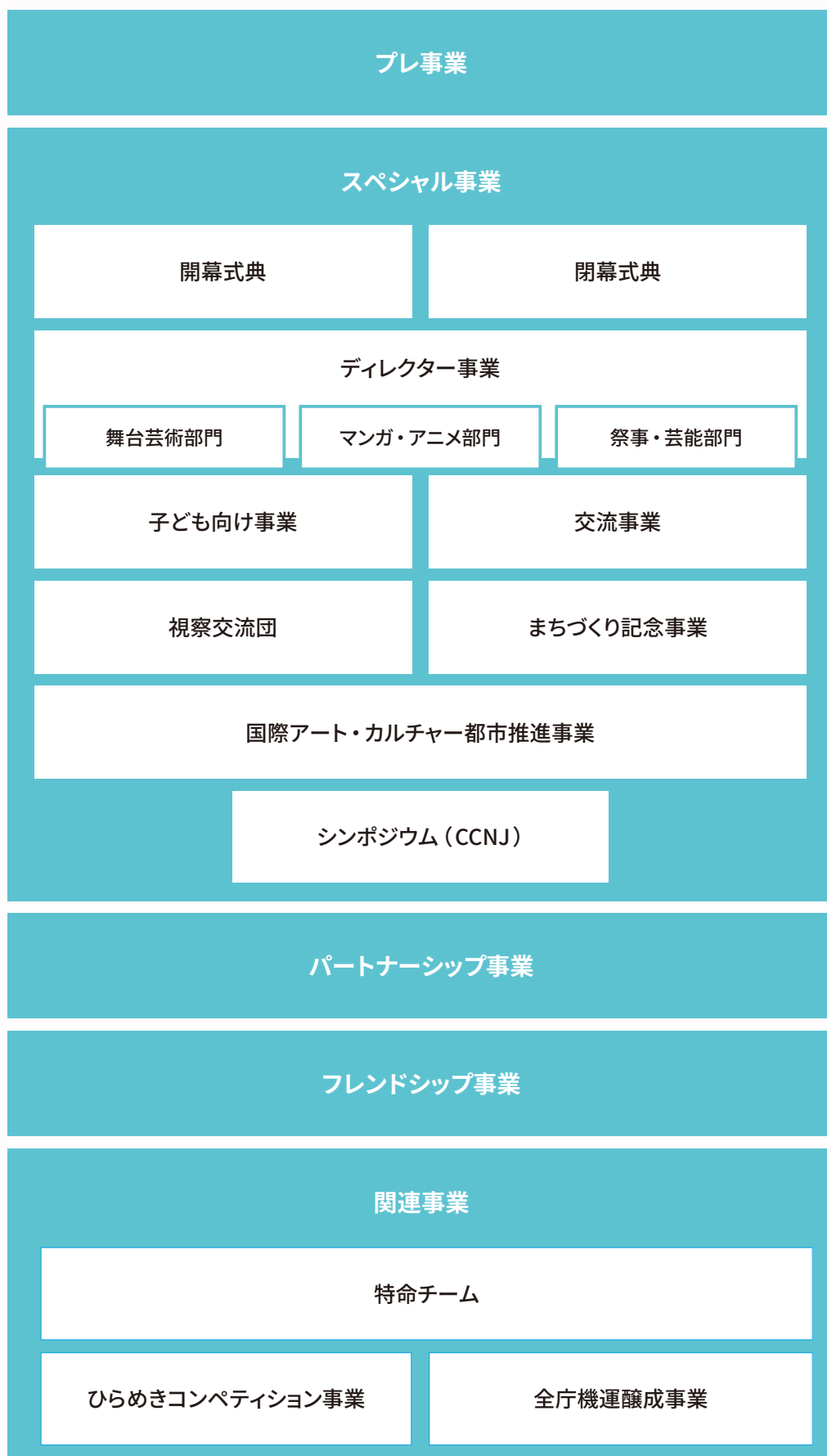
豊島区は東アジア文化都市がその理念に基いて、今後も継続・発展していけるような魅力的な開催の在り方（モデル）を提示します。

### 7. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成及びリーダーシップの発揮

東京都では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が控えています。また、これに向けて各地で文化プログラムが展開されます。豊島区では東京都と十分に連携を取りながら、東アジア文化都市を通して、いち早くこの機運を醸成するとともに、文化プログラムにおけるリーダーシップを発揮します。

## 事業構造

東アジア文化都市 2019 豊島では「舞台芸術」、「マンガ・アニメ」、「祭り・芸能」の3つを事業の柱とし、スペシャル事業、パートナーシップ事業、フレンドシップ事業などを展開しました。



## プレ事業

オールとしまによる機運醸成を図るため、2019年東アジア文化都市開幕に先駆け、国内都市決定報告会や機運醸成シンポジウムを開催しました。

## スペシャル事業

「スペシャル事業」は、東アジア文化都市2019豊島の中心事業として位置づけ、以下の事業から構成されます。

### 開幕式典／閉幕式典

開幕式典・閉幕式典では、3都市がそれぞれの都市や文化の特徴の紹介を行うとともに、芸能団による公演を披露しました。また、期間中には東アジアをテーマとしたシンポジウム（CCNJ）も行い、東アジア文化都市事業への理解を促進しました。

### ディレクター事業

「舞台芸術」、「マンガ・アニメ」、「祭事・芸能」部門では、総合ディレクター・事業ディレクターなどを置き、新規に事業を創作し、魅力的かつ芸術性の高い事業を展開しました。

### 子ども向け事業・交流事業

子どもや青少年を特に重要な対象として参加型の事業を実施しました。

交流事業では、3都市が相互に人材を派遣し、一定期間各都市の文化をテーマに交流を行い、それぞれの相互理解を促進しました。

### 視察交流団

民間レベルでの交流を図るため、民間主導による中国・西安市、韓国・仁川広域市への視察訪問を実施しました。

### まちづくり記念事業

東アジア文化都市2019豊島を未来の世代に伝えるため、23のハード整備プロジェクトを「東アジア文化都市2019豊島まちづくり記念事業」と位置づけました。

### 国際アート・カルチャー都市推進事業

豊島区やとしま未来文化財団が主催、共催等を行う事業について、東アジアとの交流の観点から拡充し「国際アート・カルチャー都市推進事業」として展開しました。

## パートナーシップ事業

民間団体が実施する東アジア文化都市2019豊島の目標に合致する取組みを幅広く公募し、費用の一部助成を行いました。

## フレンドシップ事業

東アジア文化都市2019豊島の趣旨に賛同する事業について広報面で連携を行い、シンボルロゴの使用許可及び公式Webサイトでの事業紹介を行いました。

## 関連事業

### 特命チーム

若手豊島区職員に国家的イベントを経験させ、その柔軟な発想とチャレンジ精神を活用するため、兼務として職員チームを結成し、様々な事業を企画実施しました。

### ひらめきコンペティション事業／全庁機運醸成事業

東アジア文化都市2019豊島を豊島区役所全部局を挙げて盛り上げるため、各部署で実施している事業に東アジア文化都市の趣旨を踏まえた一工夫を加えるアイデアを募集し、ひらめきコンペティション事業として実施しました。そのほか、各部署で実施している事業にシンボルロゴを掲出し、機運醸成を行いました。

## II-3 交流都市〈中国〉

挨拶

開催概要

事業報告

アヒ事業

開幕式典

スペシャル事業

パートナーシップ事業

アヒンシップ事業

関連事業

開幕式典

共同宣言

資料

CITY

# 西安市

中国西北地方の政治・経済・文化の中心地。シルクロードの東の起点として栄えた都市で、旧名は長安。紀元前11世紀から約2000年の間に、秦、漢、隋、唐など13の王朝の都でした。紀元前3世紀には、秦の始皇帝が万里の長城や壮大な墓を残し、墓を守る兵馬俑は西安最大の歴史遺産となっています。

(人口)約1,200万人  
(面積)10,108 km<sup>2</sup>



2019 CULTURE CITY  
OF EAST ASIA · XI'AN



2019东亚文化之都·西安

西安市長

**李明遠**



2018年に、中国・西安市は日本・豊島区、韓国・仁川広域市とともに2019年の「東アジア文化都市」に選ばれました。この「一帯一路」とつながり、東アジア文化を示す舞台で、私たちは「中日韓青少年唐詩百メートル絵巻唐詩書写イベント」、「池袋アニメタウンフェスティバル」、「2019東アジア生活文化祭り」などの豊富なイベントを展開してきました。それによって、お互いの友情と文化交流をさらに深めまして、日中韓3か国の文化観光の実務的な協力と交流を推進してきました。

日中韓は一衣帯水の隣国で、文化も相通じる場所があります。西安は平和的協力、開放的包摂、相互学習・相互参考、互惠関係を核心としたシルクロード精神を持って、文化で人々に影響を与え、文化で都市を発展させ、ともに文化都市の建設、文化の繁栄、文明の共有を推進していきます。また、3都市で東アジア文化交流の新しい1ページを描き、ともに東アジア地域の互惠関係の新局面を切り開きます。



CITY

# 仁川広域市

韓国西北部の黄海に面した韓国を代表する港湾都市。国際交易港である仁川港の繁栄とともに発展。2001年に開港した仁川国際空港によって新しい韓国の空の玄関口として、東北アジアの交通のハブ、国際物流の中心都市として注目されています。人口は、ソウル、釜山に次いで国内第3位。

(人口)約300万人  
(面積)1,063 km<sup>2</sup>



仁川広域市長

**朴南春**



2019年は、3都市が固有でありながら接点が多い文化を分け合いつつ交流することにより、また、お互いの文化に対する理解を高めることにより、相手国の国民に対する尊重も育むことができた貴重な時期でした。

私は仁川広域市と豊島区、西安市が2019年東アジア文化都市としてともに交流することになったことが、決して偶然ではないと考えております。

豊島区の文化行事の中では「池袋アニメタウンフェスティバル」に特に感銘を受けました。文化芸術家をはじめとする多くの地域住民や海外観光客が、祭りを通じてひとつになる姿がとても印象的でした。豊島区が「国際アート・カルチャー都市」としてのステータスを余すところなく披露した行事だったと思っております。

「協力して友誼を結ぶ」という言葉にあるように、仁川広域市と豊島区、西安市がこれからも引き続き交流と協力を行うことで、日中韓3か国間の相互理解と連帯感を鼓吹させることに貢献できることを願っております。

豊島区民の皆様の健康と幸福をお祈り申し上げます。